



夢を語る〰〰〰

～中日新聞「小さな日記」より～

本格的な梅雨空は、今週半ばになりそうです。ちょうどプール開きのころになるので、せめてその日だけでも暖かい日であってほしいと、てるてる坊主に願いをこめました。

3月下旬から5月のはじめまで、中日新聞の尾張版「小さな日記」に、正則の6年生の文章が連載されました。いくつか紹介します。

- 私の夢は、ジャージ屋さんの店員です。どうしてかというと、お父さんがジャージの関係の仕事をしているので、私もジャージの関係の仕事をしたいと思い、ジャージ屋さんの店員になりたいなあと思いました。そして、いっぱい働いて、そのお金で家族とオーロラを見に行きたいです。オーストラリアでオーロラを見て、親孝行したいと思います。
- ぼくの夢は、子どもが遊ぶゲームを作るタカラトミーの社長です。ぼくがタカラトミーの社長になろうと思った理由は3つあります。1つ目はタカラトミーのゲームが好きだからです。2つ目はタカラトミーのゲームは全部楽しいからです。3つ目は自分でゲームやおもちゃを作れるからです。
- 私の夢は美容師になることです。4歳ぐらいのころに初めて美容院に行って「カッコいいなあ。私もこの人みたいに髪の毛を切ってみたいなあ」と思ったからです。もう一つの理由は、お母さんの知り合いが美容師になり、話を聞いて美容師になりたいともっと思うようになりました。美容師になったら、私はたくさんの人を笑顔にしたいと思います。
- ぼくの夢は、社会人になっても、マラソンを続けることです。ぼくは長距離を走るのが好きです。低学年で、友達の家遊びに行くとき走っていたら、いつの間にか体力がついて、持久走大会でも1位をとることができました。今年は一宮のマラソン大会にも出場しました。これからもいろいろな大会に出て走り続けたいです。
- 私の夢は、キャンドルアーティストになることです。私は小さなときから、折り紙などの工作が好きでした。折り方を本で調べたりすると、今でもわくわくします。私は人を笑顔にすることも大好きです。キャンドルアーティストになったら、作ったキャンドルをたくさんの人に見せて、たくさんの人たちを笑顔にしたいと思います。
- 私の夢はみんなから信頼される学校の先生です。私はみんなの前でしゃべることが好きです。学校の先生になったら、授業を受ける子たちの未来、日本の未来につながっていくと思います。夢を実現させるために今、私ができることは勉強をしっかりとすることだと思います。いろいろなことに挑戦して、夢に1歩ずつ近づいていきたいです。

「教師」は、今でも小学生のなりたい職業の上位です。そして今、教師になっている人のほとんどは、「なりたい職業」を実現させた人です。教師をめぐる環境は決して明るい話題ばかりではない昨今ですが、それでも私たちは子どもの前では、常に前向きでいきいきとした姿を見せ続けたいと思います。私たちに続く、未来の「先生」となる子どもたちのために。

